TOSTEM

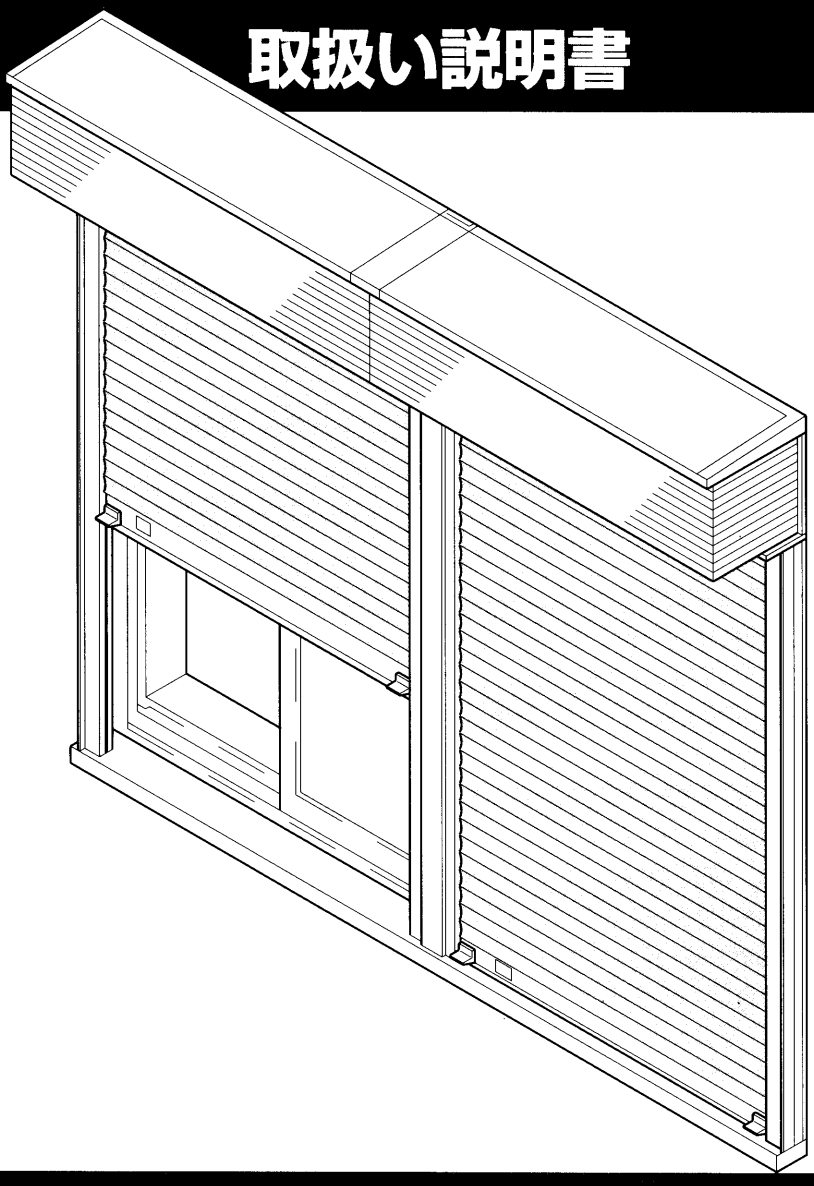
お施主さま用

窓シャッターシリーズ

アリーズII

セーフティーリターンセンサー付

取扱い説明書



警　告

- この取扱い説明書を読んで理解するまでは、「アリーズ」の操作およびお手入れをしないでください。
- この取扱い説明書は、ご使用中に不明な点やお手入れの方法などをいつでも調べられるよう大切に保存してください。

重要なお知らせ

警　告

安全のため、必ずお守りください。
「アリーズ」の操作およびお手入れの際は、必ずこの取扱い説明書に従ってください。
もし、この取扱い説明書に従わず乱用または誤用によるけがおよび損害が発生した場合は、トステム株式会社およびその販売会社に責任はないものといたします。

1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。
したがって、「アリーズ」の操作およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
2.この取扱い説明書は版権を有し、その権利は留保されています。
3.商品のお問合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ内容	連絡先窓口	所在地・TEL
商品全般	最寄りのトステム(株)営業所	—
故障・修理	トステム(株)アフターサービスグループ	〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1 フリーダイヤル(0120)365-413

保証について

1.保証者…… トステム株式会社
2.保証の対象者…… 住宅の所有者
3.対象商品…… トステムブランドで販売している一般住宅用商品およびエクステリア商品
4.保証内容…… 通常の取扱いによって生じた品質不良・性能及び機能の低下によるもので、かつ当社が認定したもの。
5.保証期間…… 当該商品の取付け完了後2年間
(電装部品については1年間)
ただし、完了時期については所有者が立証責任を負う。
6.品質保証の免責事項… 原因が次のような場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
イ)環境が特に悪い地域の場所に取り付けられたもの。
(例えば、塩害や大気中の砂塵や煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガス等の反応物質が付着して起こる腐食・高温・低温・多湿による損害や故障)
ロ)保証者の表示した取扱いから逸脱したもの。
(a)モルタル(アルミに接触する部分)に海砂を使用。
(b)モルタル(アルミに接触する部分)に急結剤を使用。
(c)塩分等を含んだ木材を使用。
(d)施工指示通りに施工がなされていない。(コーキング等)
(e)中性洗剤以外のクリーニング剤を使用。
ハ)使用者もしくは第三者の誤り・または不当な修理や改造によるもの。
ニ)保証者が表示した以上の性能を必要とする個所に取り付けられたために発生したもの。
ホ)不可抗力(天災・地変・地盤沈下・火災・爆発・騒乱・落雷・異常電圧等)により発生したもの。
ヘ)建具構成材であっても当社供給範囲外のもの。(ガラス等)
ト)一般住宅用とは認められない使用目的に使用されたもの。

目　次

重要なお知らせ…… 1
保証について…… 1
目次…… 2
安全に正しくお使いいただくために…… 3
■警告用語の種類と意味 …… 3
特に注意していただきたいこと(安全のため必ずお守りください。)…3～6
セーフティーリターンセンサーとは …… 7
各部のなまえとはたらき ……8～10
■本体…… 8
■壁スイッチ(EASY408)…… 9
■アダプタ(EASY208)…… 9
■セントラルコントローラー(EASY101)…… 10
操作のしかた…… 11～13
■壁スイッチ(EASY408)からの操作…… 11
■アダプタ(EASY208)からの操作……11
■セントラルコントローラー(EASY101)からの操作…. 12
■使用例(こんな使い方もできます。)……13
タイマー設定のしかた……14～18
■壁スイッチ各部のなまえとはたらき(詳細)……14～15
■現在時刻の設定 …… 16
■タイマー予約時刻の設定 …… 17
■タイマー予約時刻の取消し …… 18
■タイマー予約……18
連窓方立の取外し・取付けかた…… 19
異常表示……20～22
■(赤)の点滅とブザー音……20～21
■(緑)の点灯…… 21～22
■(赤)の点滅・(緑)の点灯が同時に起きたとき…… 22
停電時開放機構付きタイプについて……22～24
■停電時開放機構とは…… 22
■開放のしかた……23
■復帰のしかた……24
点検・お手入れ……25～27
■点検……25～26
■お手入れ……26～27
シャッターが動かない場合……28～29
■処理のしかた……28
■フィルター一覧…… 29

安全に正しくお使いいただくために

警告用語の種類と意味

●この取扱い説明書では、危険度（または事故の大きさ）によって、次の3段階に分類しています。
警告用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

警告用語	意　味
⚠ 警 告	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、死亡もしくは重傷を負うかもしれない場合に使用されます。
⚠ 注 意	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、中・軽傷を負う場合、または当社の製品以外の財産に影響を及ぼす場合に使用されます。
お 願 い	とくに注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと機器の損傷・故障につながる場合に使用されます。

特に注意していただきたいこと

(安全のため必ずお守りください。)

⚠ 警 告

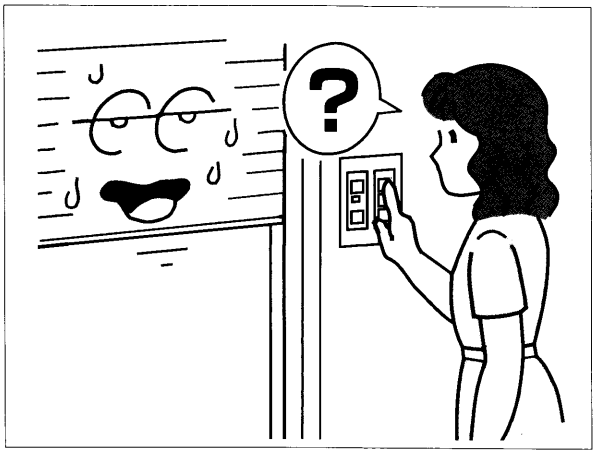
●点検口を開けて内部の機械部品を触らないでください。感電したり、手をはさまれたりするおそれがあります。
●「アリーズ」を改造しないでください。とくに、モーターおよびスイッチの改造・配線の変更は事故・故障の原因となります。

⚠ 注 意

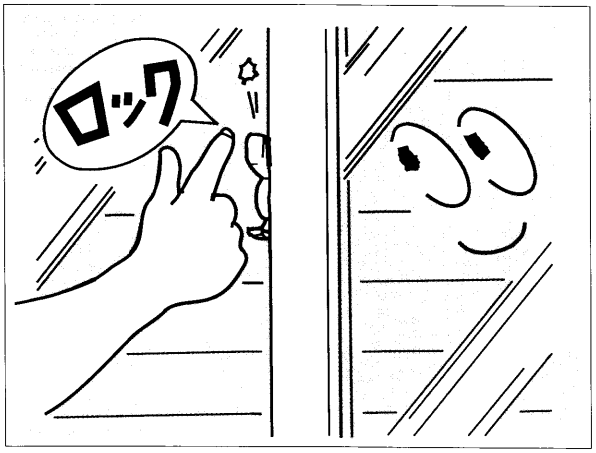
●「アリーズ」開閉の際は、周囲に人・物がないこと、また、外開きサッシに取り付けてある場合は窓が閉まっていることを必ず確認してください。また、異常表示ランプ(赤)が点滅しブザー音(10秒間)が鳴った場合は、至急それらを点検してください。
●シャッター開閉前に、連窓方立が連窓用ブラケットに固定されていることを確認してください。連窓方立の脱落によるけがや、シャッター作動不良の原因となります。
●停電時開放機構付きタイプの場合は、「アリーズ」の周囲(室内・室外)に物を置かないでください。脱出の妨げになります。
●セーフティーリターンセンサーの点検をする場合は、必ずP.25「点検・お手入れ」に従ってください。事故の原因となります。
●セントラルコントローラーを操作してセーフティーリターンセンサーの作動点検をしないでください。人・物がはさまれるおそれがあります。
●セーフティーリターンセンサーの点検をする場合は、差し出した手がタッチセンサーに触れたらすぐに手を引いてください。セーフティーリターンセンサーが故障している場合、シャッターと窓枠の間に手をはさまれるおそれがあります。

お願い

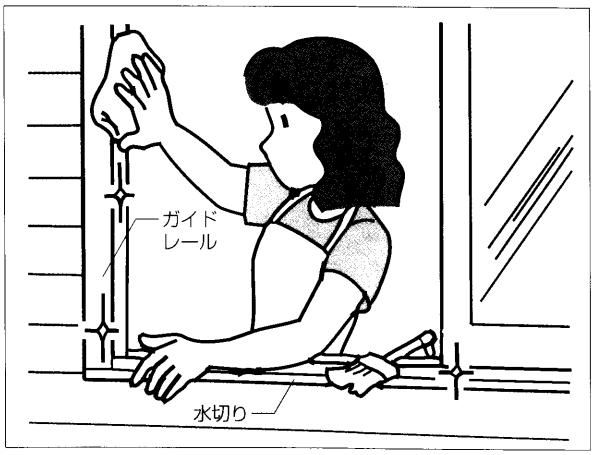
●「アリーズ」を5分以上連続して開閉しないでください。保護装置が働き、作動しなくなることがあります。(10～15分程度休ませると、再び開閉できます。)



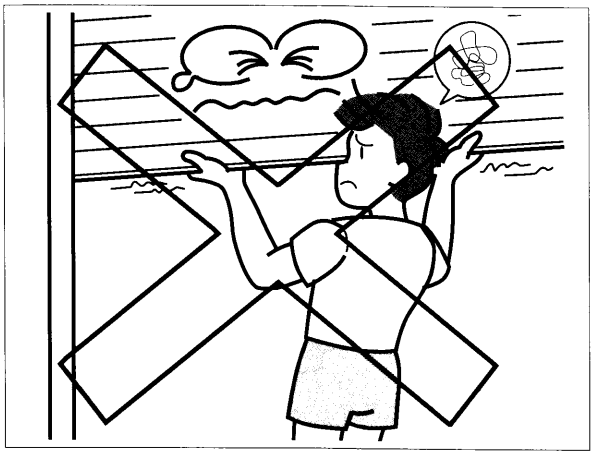
●防犯のため、おやすみまたは外出の際は「アリーズ」を閉め、必ず内側のサッシ等もロックをかけてください。また、強風・雨の際もロックをかけてください。



●「アリーズ」下部の水切りや、左右のガイドレール内部はこまめに清掃し、異物等がないようにしてください。

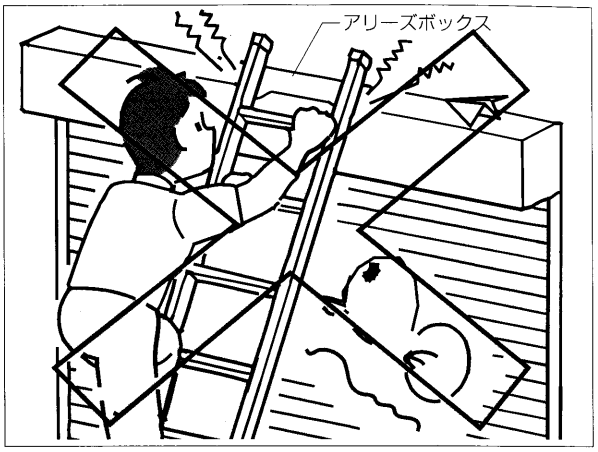


●「アリーズ」を無理に引き下げたり、押し上げたりしないでください。故障の原因となります。

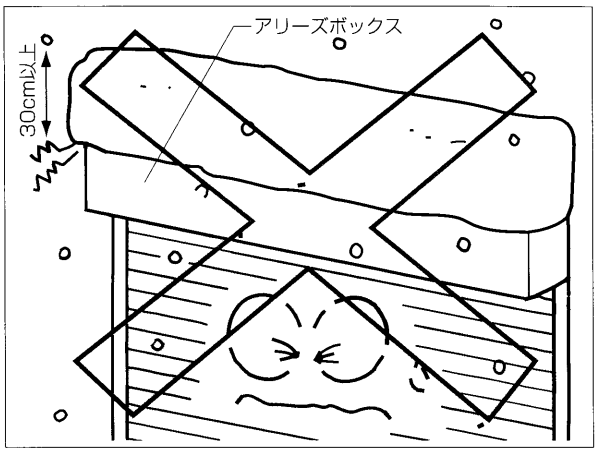


お願い

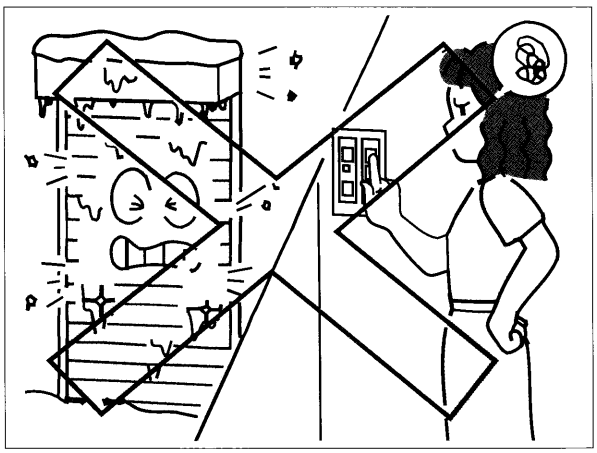
●アリーズボックスにのったり、はしごをかけたりしないでください。変形するおそれがあります。



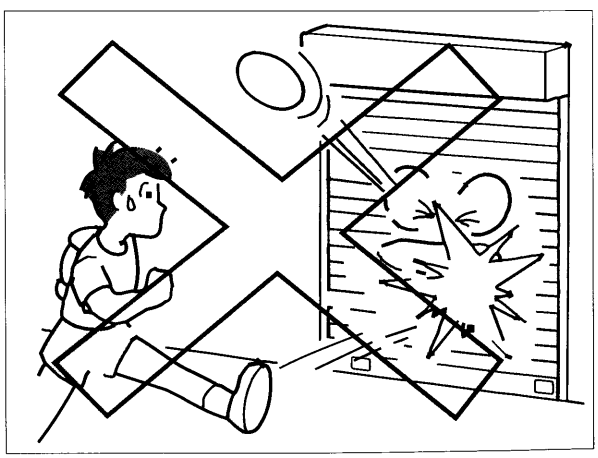
●アリーズボックスに雪が30cm以上積もった場合は、除雪してください。(その際、足場をしっかり確保して作業してください。転落・負傷のおそれがあります。)



●冬季に「アリーズ」が凍結した場合は、溶けるまで待ってから作動させてください。凍結したまま作動させると全開時の停止位置がずれ、全開になってもモーターが止まらなくなります。(約80秒後、異常表示ランプ(赤)が点滅し、ブザー音が鳴ります。)

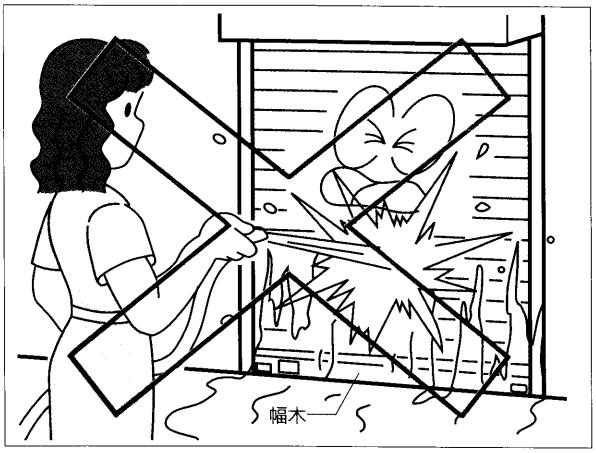


●「アリーズ」に物をぶつけないでください。変形し、開閉に支障がでるおそれがあります。

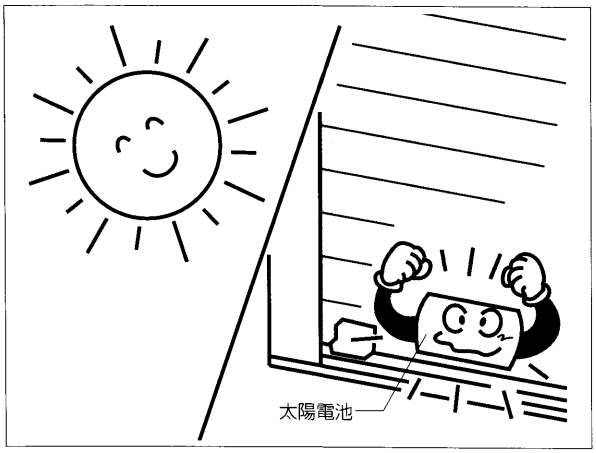


お願い

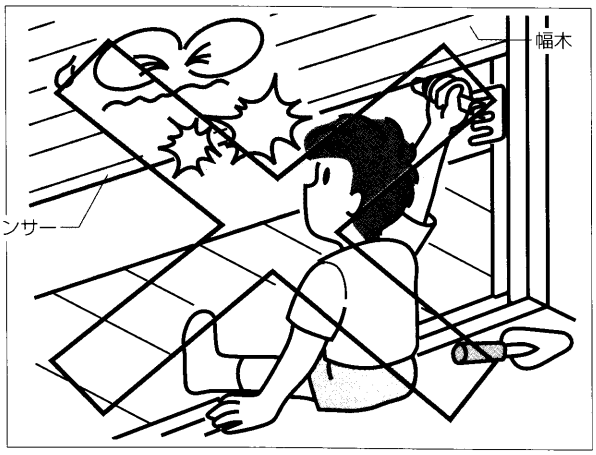
●幅木に水をかけないでください。中にある太陽電池・電子部品が故障するおそれがあります。



●太陽電池をおおいかくさないでください。セーフティーリターンセンサーが作動しなくなります。



●幅木下部のゴムは、障害物を感知するタッチセンサーです。このゴムを傷付けたり切ったりしないでください。セーフティーリターンセンサーが作動しなくなります。



●サッシ上枠とスラットの間にあるリミット調整リングを引っ張らないでください。自動停止位置がずれて故障の原因となります。



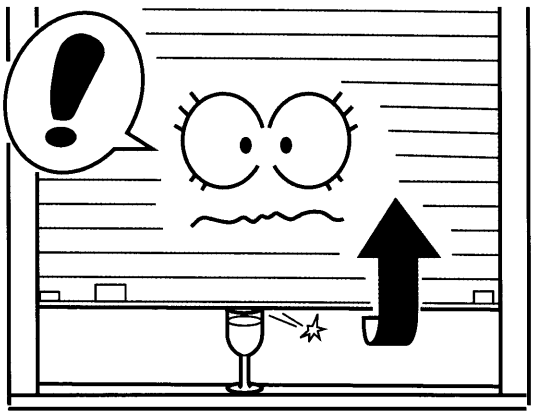
セーフティーリターンセンサーとは

シャッター下降中、幅木下部のタッチセンサーが物に触れるとシャッターはただちに停止し、自動的に上昇します。この機構をセーフティーリターンセンサーといいます。

⚠注 意

●「アリーズ」開閉の際は、周囲に人・物がないこと、また、外開きサッシに取り付けてある場合は窓が閉まっていることを必ず確認してください。また、異常表示ランプ(赤)が点滅しブザー音(10秒間)が鳴った場合は、至急それらを点検してください。

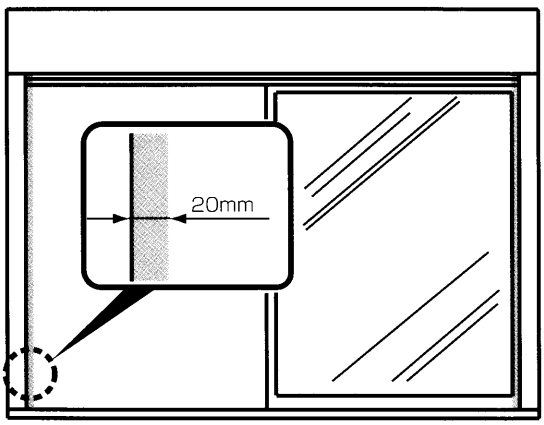
●セーフティーリターンセンサーは、太陽電池を電源としています。充電容量が低下すると、異常表示ランプ(緑)が点灯します。この場合は、P.21「(緑)の点灯」を参照してください。



●セーフティーリターンセンサーの感知開始重量は、1kg/cm(ワイングラスがはさまれても割れない程度の軽さ)です。

お願い

●左右のガイドレールより内側20mmの範囲は感知できません。この範囲に物がないことを確認してから作動させてください。



●閉まっているシャッターを外から持ち上げようとすると、自動的にロックがかかり異常表示ランプ(赤)が点滅し、ブザー音(10秒間)が鳴ります。

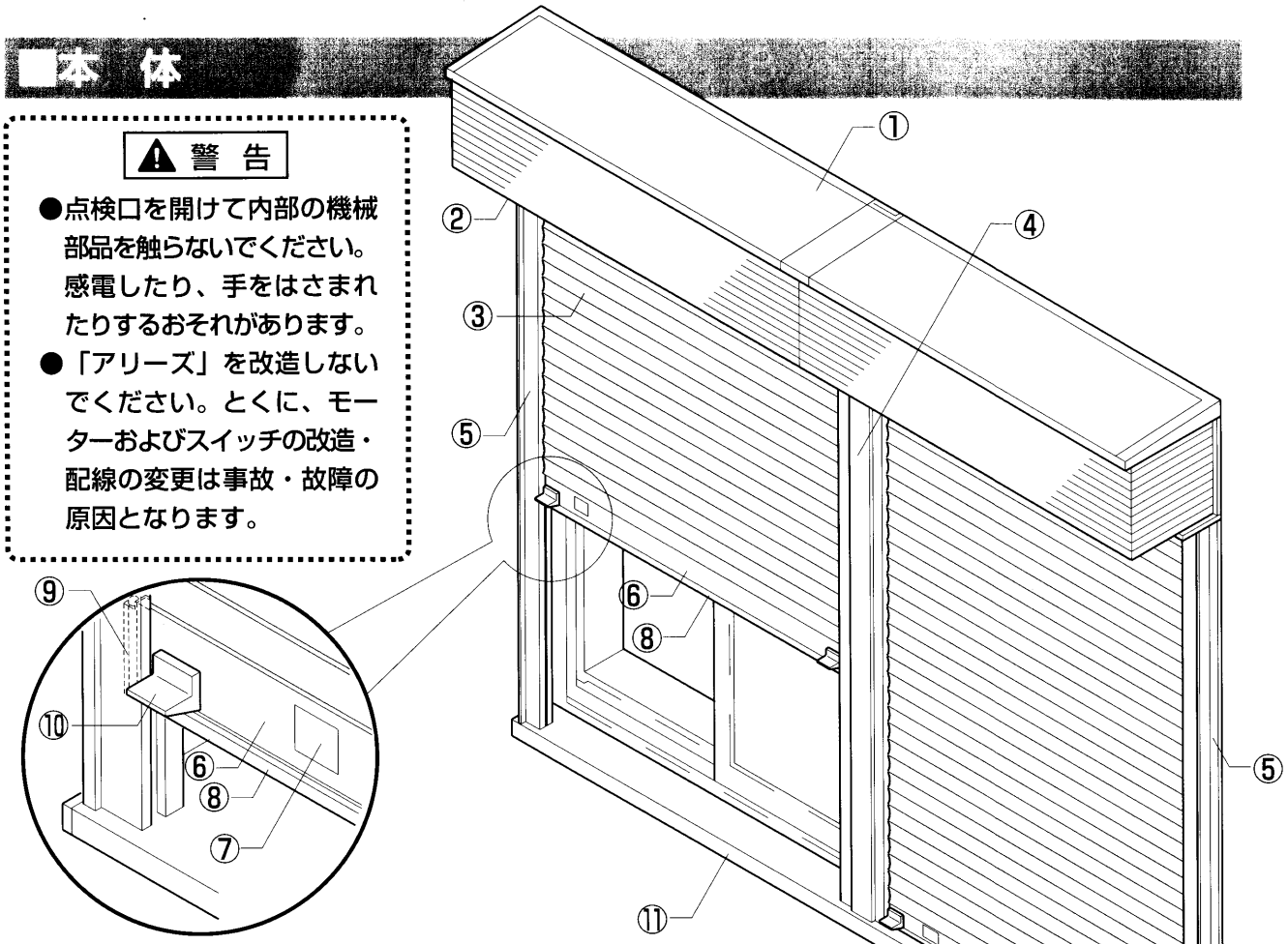


各部のなまえとはたらき

■本　体

⚠ 警　告

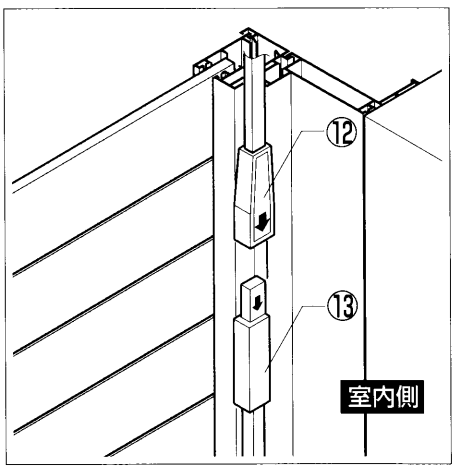
- **点検口を開けて内部の機械部品を触らないでください。感電したり、手をはさまれたりするおそれがあります。**
- **「アリーズ」を改造しないでください。とくに、モーターおよびスイッチの改造・配線の変更は事故・故障の原因となります。**



操作のしかたは、P.11～P.13「操作のしかた」を参照してください。

〔停電時開放機構付きタイプ〕

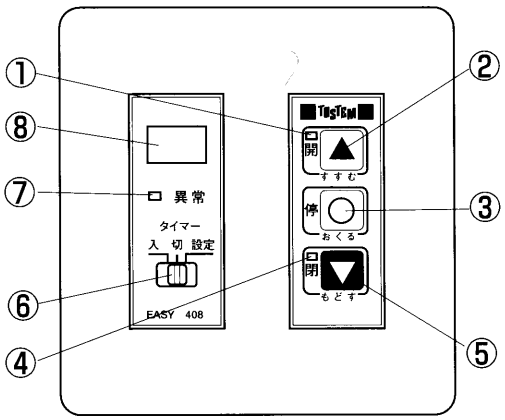
- 停電時開放機構付きタイプの場合は、室内側に開放用の操作ハンドル⑫と復帰用つまみ⑬が付きます。



番号	なまえ	はたらき
①	アリーズボックス	スラット・モーター等を収納する部分です。
②	点検口	ここからモーター等を点検します。
③	スラット	シャッターの羽根板です。
④	連窓方立	連窓に「アリーズ」を取り付ける際の支柱で、脱着できます。
⑤	ガイドレール	左右にあり、シャッター開閉の際両端がその中を通ります。
⑥	幅木	スラットの最下部で、太陽電池等の電子部品が組み込まれています。
⑦	太陽電池	セーフティーリターンセンサーの電源です。
⑧	タッチセンサー	セーフティーリターンセンサーの、障害物を感知する部分です。
⑨	セーフティーリターンセンサー送信機	タッチセンサーが障害物を感知した場合、赤外線信号を操作スイッチに伝えます。
⑩	ストッパー	故障時の異常巻上げ防止用です。
⑪	水切り・サッシ下枠	「アリーズ」の底の部分です。
⑫	操作ハンドル(停電時開放機構付きタイプのみ)	停電時にシャッターを開ける場合使用します。
⑬	復帰用つまみ(停電時開放機構付きタイプのみ)	停電時に開けたシャッターを元に戻す場合使用します。

■壁スイッチ(EASY408)

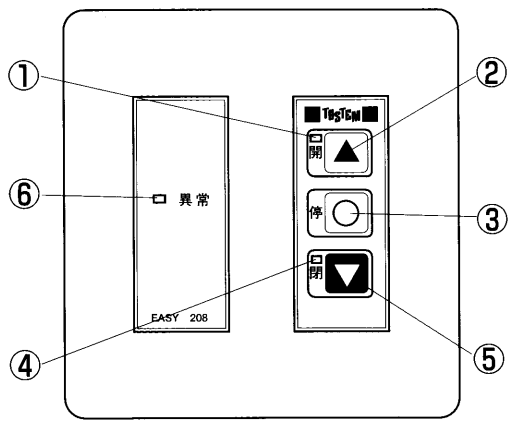
壁スイッチは、タイマー機能を持った個別操作スイッチです。
このスイッチでは集中制御(複数の「アリーズ」を制御)できません。
操作のしかたは、P.11「壁スイッチ(EASY408)からの操作」を参照してください。



番号	なまえ	はたらき
①	開ランプ(赤)	シャッター上昇中に点滅し、全開または途中停止で点灯になります。(少しでも開いていると消灯しません。)
②	開/すすむ スイッチ	開　　：シャッターが上昇します。 すすむ：設定時刻をすすめます。
③	停止/おくる スイッチ	停　止：シャッターが途中停止します。 また、異常表示ランプ(赤)の点滅とブザー音を解除します。 おくる：設定モード(開時刻・閉時刻)と内容を順送りします。
④	閉ランプ(緑)	シャッター下降中に点滅し、全閉で点灯になります。(全閉時は消灯しません。)
⑤	閉/もどす スイッチ	閉　　：シャッターが下降します。 もどす：設定時刻をもどします。
⑥	タイマー切替え スイッチ	入　　：タイマーを予約します。 設　定：タイマー予約時刻・現在時刻を設定します。 切　　：タイマーを予約しません。
⑦	異常表示ランプ (赤・緑)	赤ランプ：セーフティーリターンセンサーが障害物を感知した場合、または全閉時・停止中にシャッターを持ち上げようとした場合、点滅しブザー音(10秒間)が鳴ります。 緑ランプ：幅木の中にある太陽電池の充電容量が低下した場合、点灯します。
⑧	時刻表示窓	タイマー予約時刻・現在時刻を表示します。

■アダプタ(EASY208)

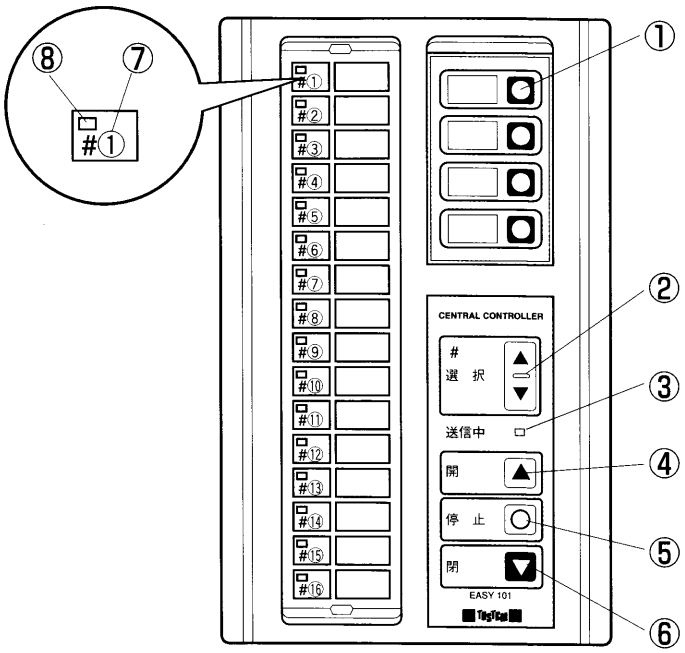
アダプタは、集中制御(複数の「アリーズ」を制御)用の個別操作スイッチです。
(集中制御には、このほかセントラルコントローラーも必要です。)
操作のしかたは、P.11「アダプタ(EASY208)からの操作」を参照してください。



番号	なまえ	はたらき
①	開ランプ(赤)	シャッター上昇中に点滅し、全開または途中停止で点灯になります。(少しでも開いていると消灯しません。)
②	開スイッチ	シャッターが上昇します。
③	停止スイッチ	シャッターが途中停止します。また、異常表示ランプ(赤)の点滅とブザー音を解除します。
④	閉ランプ(緑)	シャッター下降中に点滅し、全閉で点灯になります。(全閉時は消灯しません。)
⑤	閉スイッチ	シャッターが下降します。
⑥	異常表示ランプ (赤・緑)	赤ランプ：セーフティーリターンセンサーが障害物を感知した場合、または全閉時・停止中にシャッターを持ち上げようとした場合、点滅しブザー音(10秒間)が鳴ります。 緑ランプ：幅木の中にある太陽電池の充電容量が低下した場合、点灯します。

■セントラルコントローラー(EASY101)

セントラルコントローラーは、集中制御(複数の「アリーズ」を制御)用のものです。(集中制御には、このほかアダプタも必要です。)
操作のしかたは、P.12「セントラルコントローラー(EASY101)からの操作」を参照してください。



番号	なまえ	はたらき
①	グループ操作スイッチ	グループ設定に合わせて、複数のシャッターを同時に開閉します。
②	窓No.選択スイッチ	開閉したいシャッターの窓No.を選択します。
③	送信ランプ(赤)	信号送信中に点滅します。
④	開スイッチ	選択された窓No.のシャッターが上昇します。
⑤	停止スイッチ	選択された窓No.のシャッターが途中停止します。また、異常を知らせるブザー音を解除します。
⑥	閉スイッチ	選択された窓No.のシャッターが下降します。
⑦	窓No.ランプ(緑)	選択された窓No.のランプが点灯します。
⑧	開閉表示/異常表示ランプ(赤)	点灯：各シャッターが全開または途中停止の場合、点灯します。(全閉時は消灯します。) 点滅：セーフティーリターンセンサーが障害物を感知した場合や全閉時・停止中にシャッターを持ち上げようとした場合、または幅木の中にある太陽電池の充電容量が低下した場合、点滅します。

操作のしかた

⚠注意

●「アリーズ」開閉の際は、周囲に人・物がないこと、また、外開きサッシに取り付けてある場合は窓が閉まっていることを必ず確認してください。

■壁スイッチ(EASY408)からの操作

〔開けかた〕

1)タイマー切替えスイッチ⑥を「入」か「切」の位置にしてください。
「設定」の位置では操作できません。

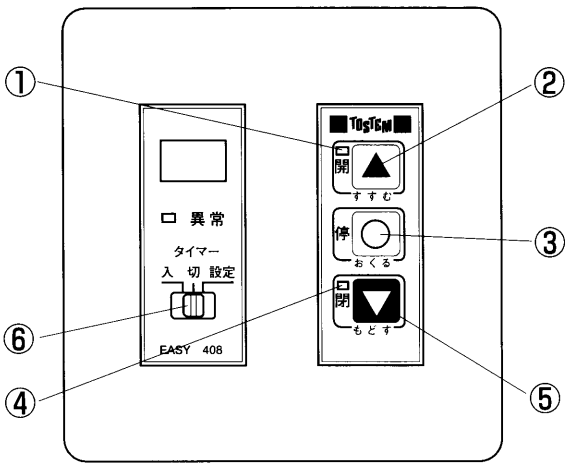
2)開/すすむスイッチ②を押してください。
シャッターが上昇し、開ランプ(赤)①が点滅します。
シャッターを全開または途中停止すると点灯になります。

〔閉めかた〕

1)閉/もどすスイッチ⑤を押してください。
シャッターが下降し、閉ランプ(緑)④が点滅します。
シャッターを全閉すると点灯になり、途中停止すると消灯します。

〔途中停止のしかた〕

1)停止/おくるスイッチ③を押してください。
シャッターが途中停止し、開ランプ(赤)①が点灯します。



番号	なまえ
①	開ランプ(赤)
②	開/すすむスイッチ
③	停止/おくるスイッチ
④	閉ランプ(緑)
⑤	閉/もどすスイッチ
⑥	タイマー切替えスイッチ

■アダプタ(EASY208)からの操作

〔開けかた〕

1)開スイッチ②を押してください。
シャッターが上昇し、開ランプ(赤)①が点滅します。
シャッターを全開または途中停止すると点灯になります。

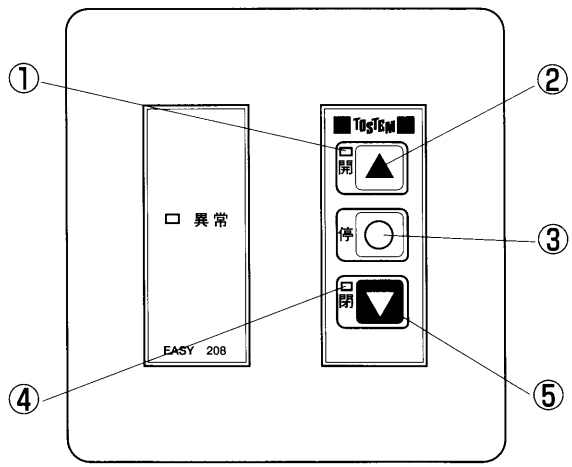
〔閉めかた〕

1)閉スイッチ⑤を押してください。
シャッターが下降し、閉ランプ(緑)④が点滅します。
シャッターを全閉すると点灯になり、途中停止すると消灯します。

〔途中停止のしかた〕

1)停止スイッチ③を押してください。
シャッターが途中停止し、開ランプ(赤)①が点灯します。

●アダプタとセントラルコントローラーとでは、より新しい指示が優先されます。
例えば、セントラルコントローラーで閉スイッチを押した後アダプタの開スイッチ②を押すと、シャッターは上昇します。



番号	なまえ
①	開ランプ(赤)
②	開スイッチ
③	停止スイッチ
④	閉ランプ(緑)
⑤	閉スイッチ

■セントラルコントローラー(EASY101)からの操作

〔個別遠隔操作のしかた〕

1)開閉したいシャッターの窓No.ランプ(緑)⑦が点灯するまで、窓No.選択スイッチ②を押してください。

2)開ける場合は開スイッチ④、閉める場合は閉スイッチ⑥を押してください。

シャッターが上昇または下降し、送信ランプ(赤)③が点滅します。

シャッターを途中停止する場合は、停止スイッチ⑤を押してください。

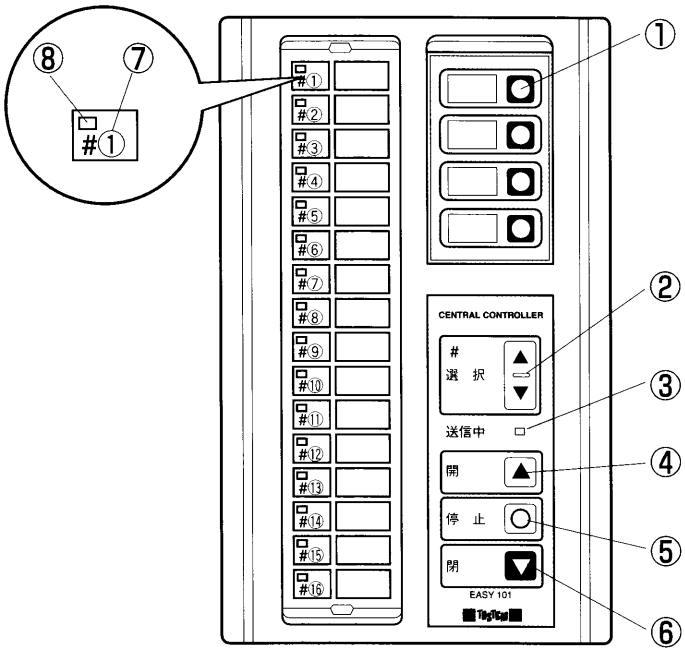
シャッターが途中停止し、開閉表示/異常表示ランプ(赤)⑧が点灯します。

シャッターを全閉すると消灯します。

〔グループ操作のしかた〕

1)グループ操作スイッチ①を押してください。

グループとして設定された複数のシャッターを同時に開閉できます。



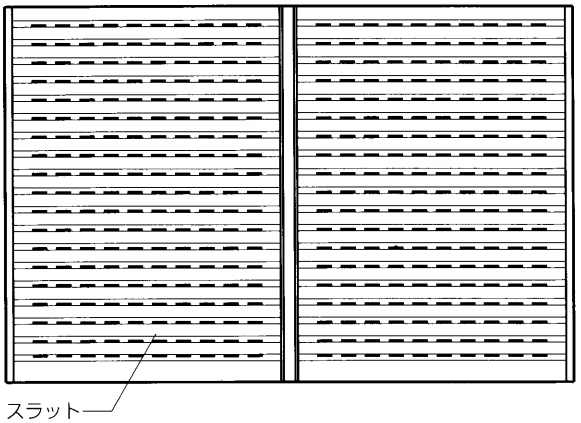
番号	なまえ
①	グループ操作スイッチ
②	窓No.選択スイッチ
③	送信ランプ(赤)
④	開スイッチ
⑤	停止スイッチ
⑥	閉スイッチ
⑦	窓No.ランプ(緑)
⑧	開閉表示/異常表示ランプ(赤)

●グループを設定したり設定を変えたりする場合は、最寄りのトステム(株)営業所までご連絡ください。

■使用例(こんな使い方もできます。)

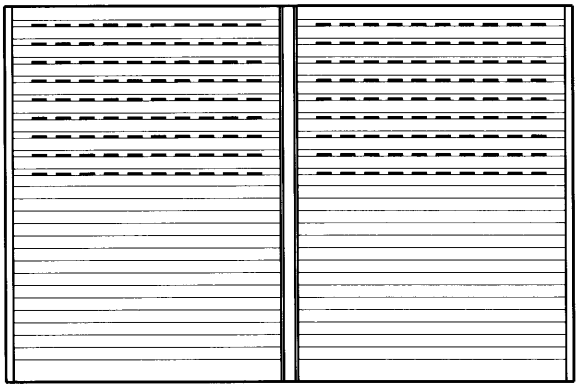
〔スラット間に透き間がある状態〕

シャッターを降ろし、スラット間の透き間が詰まる前に停止スイッチを押して停止させます。透き間から柔らかな光が入り、窓を開ければシャッターを降ろしたまま通風・換気できます。



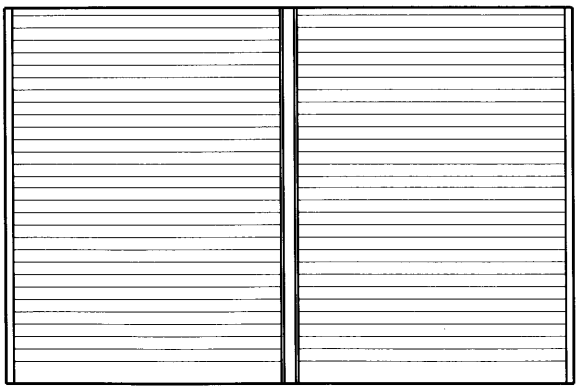
〔上部だけに透き間がある状態〕

シャッターを下降させると、スラット間に透き間がある状態を経て、下側から順に透き間が詰まっていきます。お好みの位置で停止させると、換気・採光の調整ができます。



〔全閉状態(透き間のない状態)〕

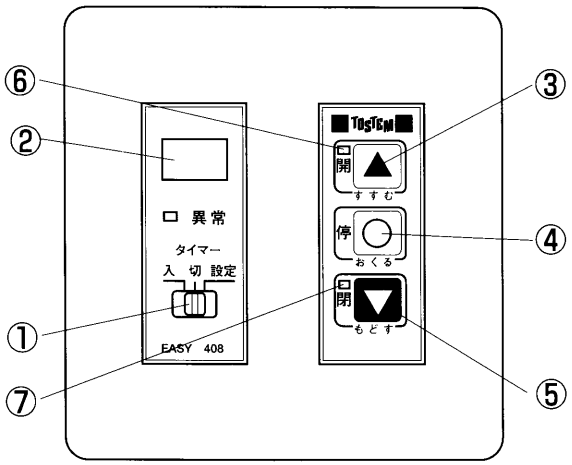
シャッターをさらに下降させると透き間がなくなり、雨戸として使えるほか、防音機能も果たします。



タイマー設定のしかた

■壁スイッチ各部のなまえとはたらき(詳細)

タイマー機能は、壁スイッチ(EASY408)にのみ装備しています。



①タイマー切替えスイッチ

●**設定** 

：タイマー予約時刻・現在時刻を設定します。

●**切** 

：タイマーを予約しません。

●**入** 

：タイマーを予約します。

②時刻表示窓

●**タイマー予約時刻・現在時刻を表示します。**

表示の切替えかたは、次ページの「④停止/おくるスイッチ」を参照してください。

最初は、時刻表示窓に「バー」表示  が点滅します。

●**「バー」表示は23時と0時の間で表示されます。**

時刻表示窓が 

のとき、

を押すと 

になります。

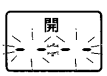
もう一度 

を押すと、

になります。

時刻表示窓が 

のとき、

を押すと 

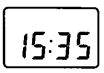
になります。

もう一度 

を押すと、

になります。

●**現在時刻は24時間表示です。**

午後3時35分のときは、

と表示します。

●**タイマー予約時刻も24時間表示です。**

午前6時00分に開けるときは、

と表示します。

午後6時00分に閉めるときは、

と表示します。

③開/すすむスイッチ

タイマー切替えスイッチ①を設定 

にすると、

を1回押すごとに、時刻表示窓②の数字(時または分)が1つずつ進みます。



を押しっ放しにすると早送りができます。

④停止/おくるスイッチ

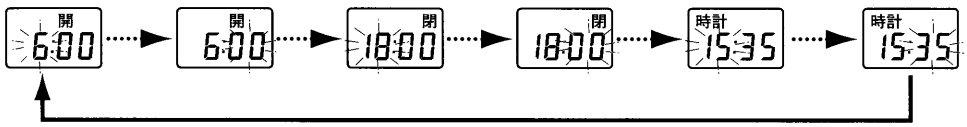
タイマー切替えスイッチ①を設定 

にすると、

を1回押すごとに、時刻表示窓②の表示が下記の例のように切り替わります。



を押しっ放しにすると早送りができます。

例：

●**開(タイマー開予約時刻)**：設定してある開予約時刻を表示します。
●**閉(タイマー閉予約時刻)**：設定してある閉予約時刻を表示します。
●**時計(現在時刻)**　　：設定してある現在時刻を表示します。

⑤閉/もどすスイッチ

タイマー切替えスイッチ①を設定 

にすると、

を1回押すごとに、時刻表示窓②の数字(時または分)が1つずつ戻ります。



を押しっ放しにすると早戻しができます。

⑥開ランプ(赤)

タイマー切替えスイッチ①のセットのしかたによって、ランプのつきかたが変わります。

●**設定** 

：点滅

●**入** 

・切 

：点灯(シャッターが少しでも開いている場合)

⑦閉ランプ(緑)

タイマー切替えスイッチ①のセットのしかたによって、ランプのつきかたが変わります。

●**設定** 

：点滅

●**入** 

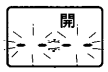
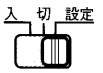
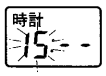
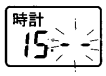
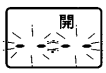
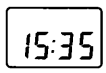
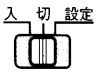
・切 

：点灯(シャッターが全閉の場合)

■現在時刻の設定

タイマーを予約する場合は、必ず現在時刻を正しい時刻に設定してください。

例：午後3時35分に、現在時刻(15：35)を設定する場合の手順

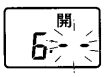
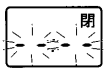
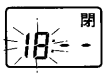
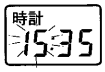
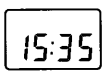
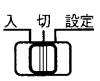
手順	時刻表示窓の状態	使用するスイッチと操作
1		設定  にしてください。(「開」が点灯し、バー表示が点滅します。)
2		「時計」が点灯するまで、 を押してください。(時が点滅します。)
3		「15」になるまで、 または  を押してください。
4		 を押してください。(分が点滅します。)
5		「35」になるまで、 または  を押してください。
6		 を押してください。(「開」が点灯し、バー表示が点滅します。)
7		切  にしてください。(時計が動き始めます。)

●設定した現在時刻を変更する場合も、上記の手順で設定し直してください。
(この時手順2のところでは、前回設定した時刻が表示されます。)

■タイマー予約時刻の設定

タイマーを予約する場合は、必ず現在時刻を正しい時刻に設定してください。

例：シャッターの開く時刻を午前6時00分(6：00)、閉まる時刻を午後6時00分(18：00)に設定する場合の手順

手順	時刻表示窓の状態	使用するスイッチと操作
1		設定  にしてください。(「開」が点灯し、バー表示が点滅します。)
2		「6」になるまで、 または  を押してください。
3		 を押してください。(分が点滅します。)
4		「00」になるまで、 または  を押してください。
5		 を押してください。(「閉」が点灯し、バー表示が点滅します。)
6		「18」になるまで、 または  を押してください。
7		 を押してください。(分が点滅します。)
8		「00」になるまで、 または  を押してください。
9		 を押してください。(現在時刻が表示されます。)
10		切  にしてください。(時計が動き始めます。)

●シャッターの開く時刻のみ設定する場合は、手順1・2・3・4・5・7・9・10を行ってください。

●シャッターの閉まる時刻のみ設定する場合は、手順1・3・5・6・7・8・9・10を行ってください。

■タイマー予約時刻の取消し

例：シャッターの開く時刻が午前6時00分(6：00)、閉まる時刻が午後6時00分(18：00)の設定を取り消す場合の手順

手順	時刻表示窓の状態	使用するスイッチと操作
1	開 6:00	設定（入 切 設定）にしてください。(「開」が点灯します。)
2	開	「バー」表示になるまで、開▲（すすむ）または 閉▼（もどす）を押してください。
3	閉 18:00	停○（おくる）を押してください。(「閉」が点灯します。)
4	閉	「バー」表示になるまで、開▲（すすむ）または 閉▼（もどす）を押してください。
5	時計 15:35	停○（おくる）を押してください。(現在時刻が表示されます。)
6	15:35	切（入 切 設定）にしてください。(時計が動き始めます。)

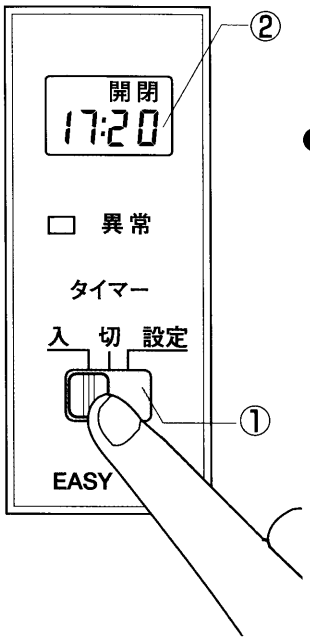
■タイマー予約

タイマーを予約する場合は、必ず現在時刻を正しい時刻に設定してください。

〔タイマーを予約する場合〕

タイマー予約時刻・現在時刻を設定したのち、タイマー切替えスイッチ①を「入」にしてください。設定されたタイマー予約時刻になると、シャッターが開閉します。

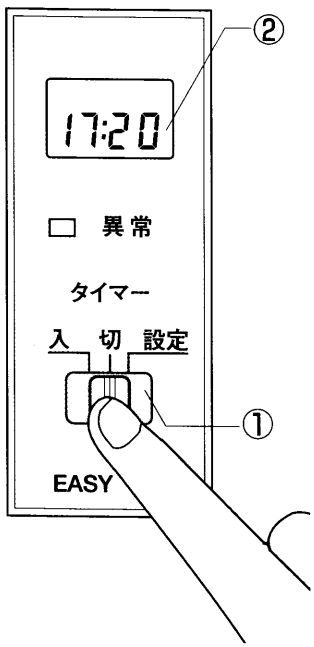
●時刻表示窓②は、現在時刻と予約状況(開または閉)を表示します。



〔タイマーを予約しない場合〕

タイマー切替えスイッチ①を「切」にしてください。

●時刻表示窓②は、現在時刻だけを表示します。

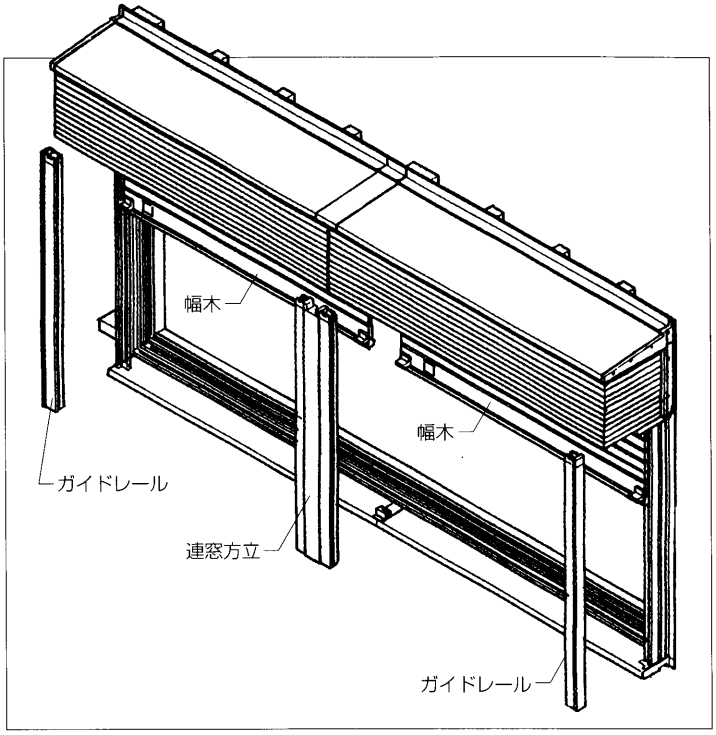


連窓方立の取外し・取付けかた

⚠注 意

●シャッター開閉前に、連窓方立が連窓用ブラケットに固定されていることを確認してください。連窓方立の脱落によるけがや、シャッター作動不良の原因となります。

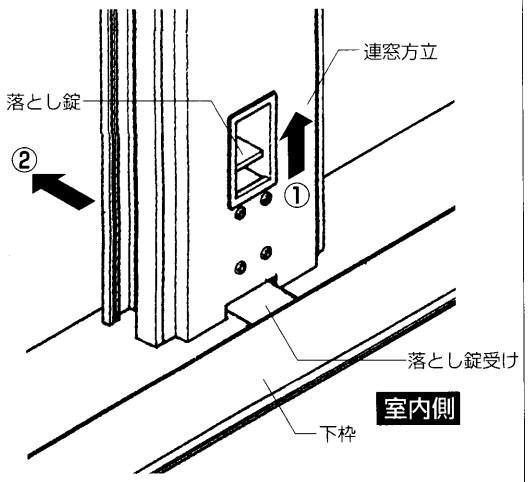
連窓方立は、必ずしっかり支えながら取外し・取付けを行ってください。



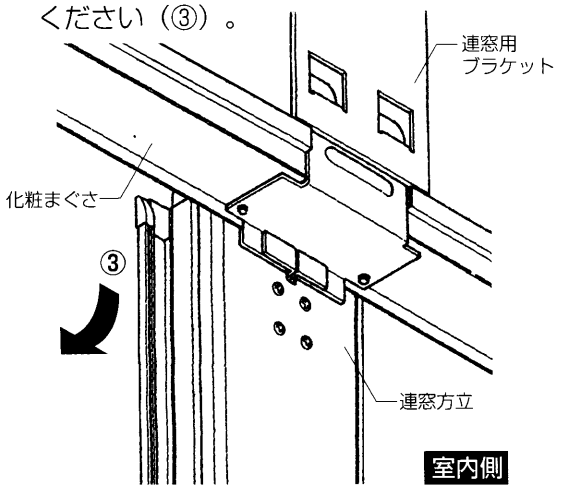
〔取外しかた〕

1)連窓方立の左右のシャッターを全開してください。

2)連窓方立下部(室内側)の落とし錠を上げてください（①）。



3)連窓方立下部を室外側へ押し出し（②）、上部を連窓用ブラケットから引き抜いてください（③）。



〔取付けかた〕

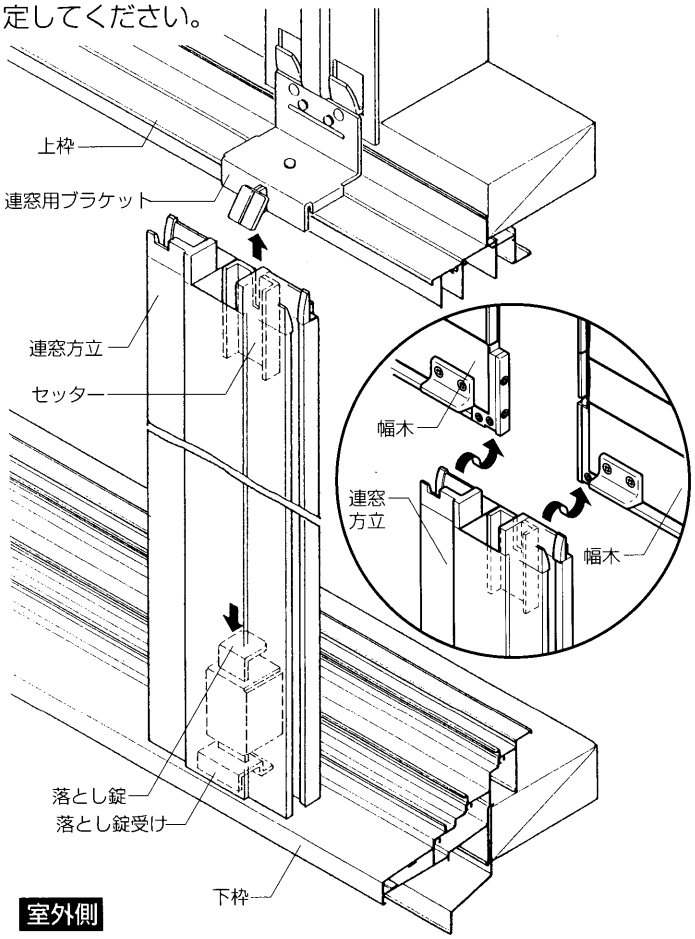
1)左右の幅木を、連窓方立上端に引き入れてください。

2)そのまま連窓方立を押し上げ、セッターを連窓用ブラケットに差し込んでください。

お願い

●きちんと差し込まれたか、必ず確認してください。

3)連窓方立下部を下枠に押し付け、落とし錠を押し下げ固定してください。



異常表示

「アリーズ」が異常を感知した場合、以下の異常表示をします。

●異常表示ランプ(赤)が点滅し、ブザー音(10秒間)が鳴る。

●異常表示ランプ(緑)が点灯する。

●上記2事項が同時に起きる。

(集中制御の場合、アダプタの異常表示ランプ(赤)が点滅または(緑)が点灯したときは、セントラルコントローラーでも開閉表示/異常表示ランプ(赤)の点滅とブザー音で異常を知らせます。)

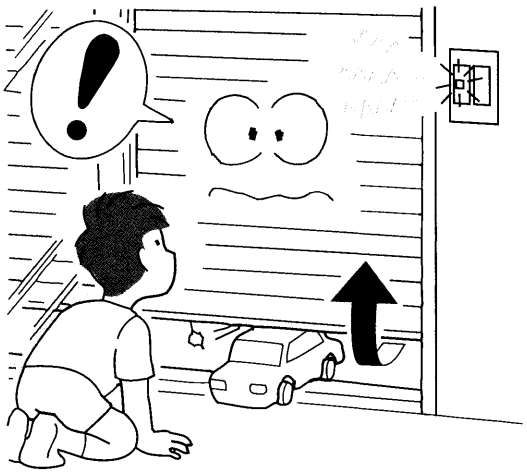
以下の手順で異常表示の原因を突き止め、解除してください。

■(赤)の点滅とブザー音

異常表示ランプ(赤)が点滅し、ブザー音(10秒間)が鳴った場合は、以下の原因が考えられます。

●シャッター下降中に、タッチセンサーが障害物(人・物など)を感知した場合

(シャッターはただちに停止し、自動的に上昇して全開で停止します。)



●シャッター上昇中に、タッチセンサーが押された場合

(シャッターはその場で停止します。)

●シャッターが閉まっているとき、または途中停止しているときに持ち上げた場合

(「アリーズ」は自動的にロックがかかります。)



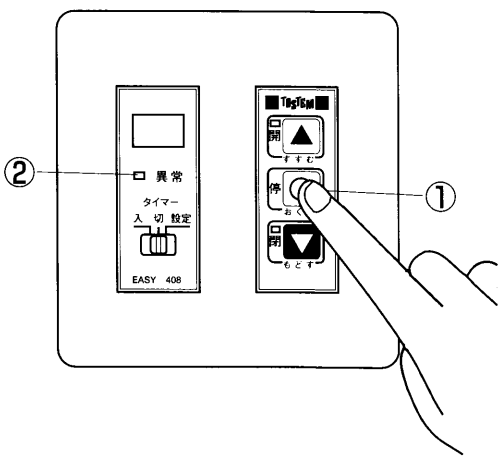
異常表示ランプ(赤)の点滅とブザー音を解除する場合は、以下の手順に従ってください。

〔壁スイッチの場合〕

1)停止/おくるスイッチ①を押してください。

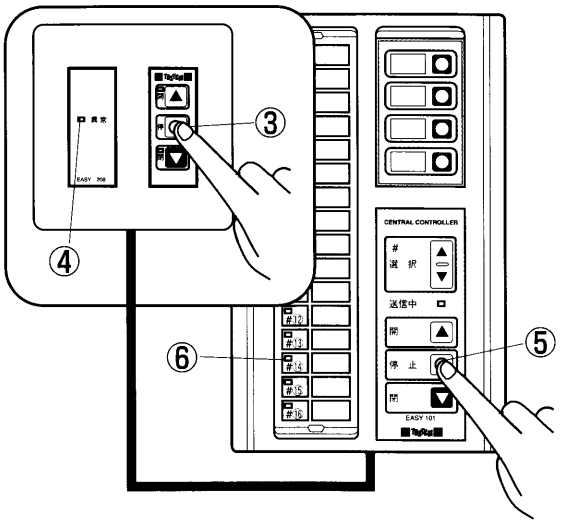
異常表示ランプ(赤)②の点滅とブザー音が同時に解除されます。

●停止/おくるスイッチ①を押しても解除できないときは、タッチセンサーを押してから上記を行ってください。(タッチセンサーについては、P.8「本体」を参照してください。)それでも解除できない場合は、P.27「お手入れ〔セーフティーリターンセンサー送信機部分〕」に従い清掃してから再度上記を行ってください。



〔アダプタの場合〕

1)停止スイッチ③を押してください。
異常表示ランプ(赤)④の点滅とブザー音が同時に解除されます。



〔セントラルコントローラーの場合〕

1)セントラルコントローラーの停止スイッチ⑤を押してください。ブザー音が解除されます。

2)アダプタの停止スイッチ③を押してください。
セントラルコントローラーの開閉表示/異常表示ランプ(赤)⑥の点滅が解除されます。

●アダプタの停止スイッチ③およびセントラルコントローラーの停止スイッチ⑤を押しても解除できないときは、タッチセンサーを押してから上記を行ってください。
(タッチセンサーについては、P.8「本体」を参照してください。)
それでも解除できない場合は、P.27「お手入れ〔セーフティーリターンセンサー送信機部分〕」に従い清掃してから再度上記を行ってください。

■(緑)の点灯

太陽電池の充電容量が低下すると、異常表示ランプ(緑)が点灯します。
「アリーズ」開閉中の場合は、シャッターはその位置で停止します。

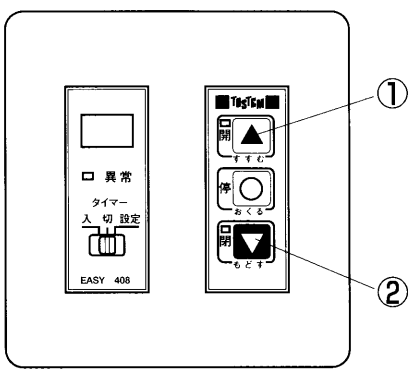
⚠注 意

異常表示ランプ(緑)が点灯している間は、セーフティーリターンセンサーが作動しません。
●「アリーズ」開閉の際は、周囲に人・物がないこと、また、外開きサッシに取り付けてある場合は窓が閉まっていることを必ず確認してください。

異常表示ランプ(緑)の点灯中に「アリーズ」を開閉する場合は、以下に従ってください。

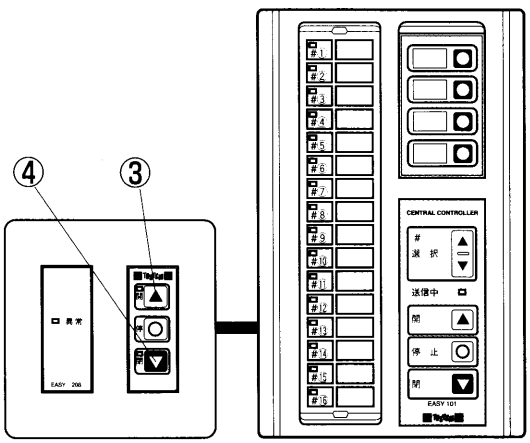
〔壁スイッチからの操作〕

開/すすむスイッチ①または閉/もどすスイッチ②を押しっ放しにしてください。その間だけ開閉します。



〔アダプタからの操作〕

開スイッチ③または閉スイッチ④を押しっ放しにしてください。その間だけ開閉します。



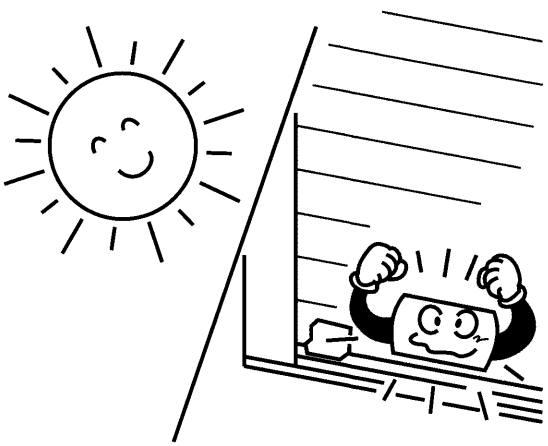
〔セントラルコントローラーからの操作〕

スイッチを操作しても作動しません。

異常表示ランプ(緑)は、太陽電池の充電容量が回復すれば、自動解除します。
太陽電池の充電容量を回復させる場合は、以下の手順に従ってください。

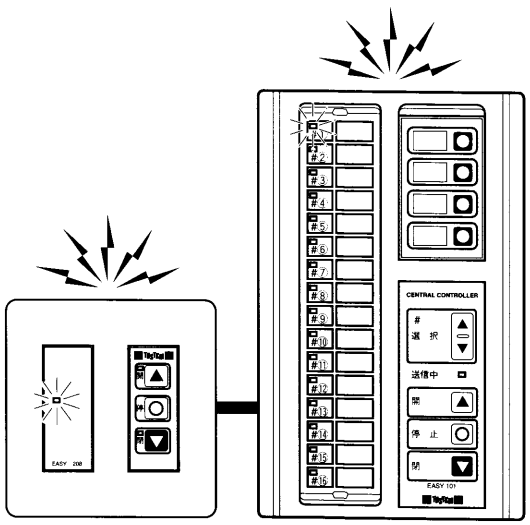
1)太陽電池表面の汚れをふき取ってください。
2)太陽電池が明るい位置にくるよう、シャッターを停止させてください。

●晴天時等、日光が直接太陽電池に当たる場合は、約3～4時間充電すると異常表示ランプ(緑)が解除されます。通常の使用状態で太陽電池の充電が完了するには、約5日間かかります。



■(赤)の点滅・(緑)の点灯が同時に起きたとき

異常表示ランプ(赤)と(緑)が交互に点滅し、約10秒間ブザー音が鳴った場合は、P.21「(赤)の点滅とブザー音」、P.21「(緑)の点灯」の両方に従って解除してください。



停電時開放機構付きタイプについて

停電時開放機構は、テラスサイズタイプには標準装備されています。
窓サイズタイプの場合は、特別注文となります。

■停電時開放機構とは

「アリーズ」は、電力で開閉する電動式シャッター雨戸です。
停電時は開閉できませんが、緊急の場合は次ページの「開放のしかた」に従いシャッターを開放して室外に出ることができます。また、簡単に元の状態に戻せますので、避難訓練もできます。

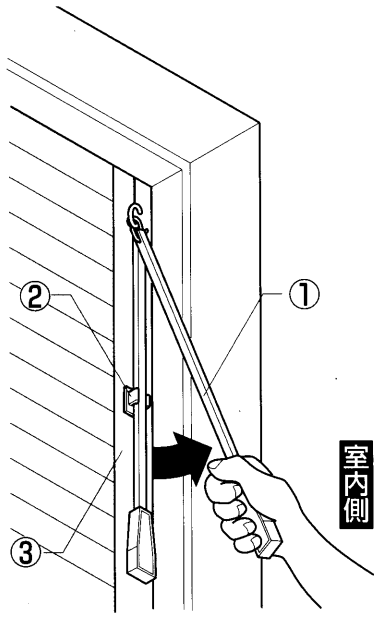
●停電時開放機構は、停電時・非常時の脱出用です。
●開放する際、復帰用つまみがとび出している場合は押し込んでください。
●非常時に適切にご使用いただけるよう、1年に1回程度の作動確認をしてください。
次ページの「〔作動確認・避難訓練等の場合〕」を参照してください。

〔非常の場合〕

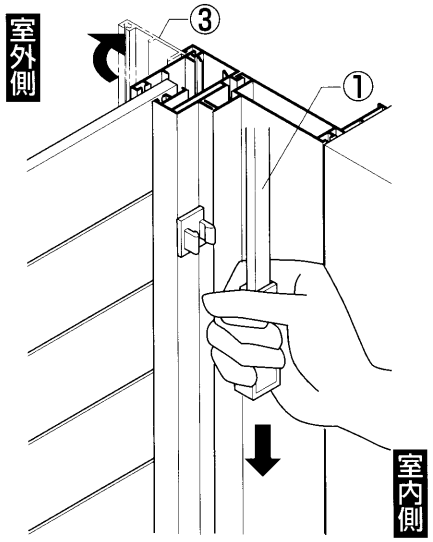
⚠注 意

「アリーズ」の周囲(室内・室外)に物を置かないでください。脱出の妨げになります。

1)窓を開け、操作ハンドル①をホルダー②から外してください。
操作ハンドルは、「アリーズ」の左右どちらかのガイドレール③(室内側)にあります。



2)操作ハンドル①を下に強く引いてください。左右のガイドレール③の室外側が開き、シャッターは固定が解けてすだれのようになります。
●ガイドレール③は室外からは開きません。



3)シャッター面を押して脱出してください。
脱出時は、足元や周囲の状況をよく確かめてください。

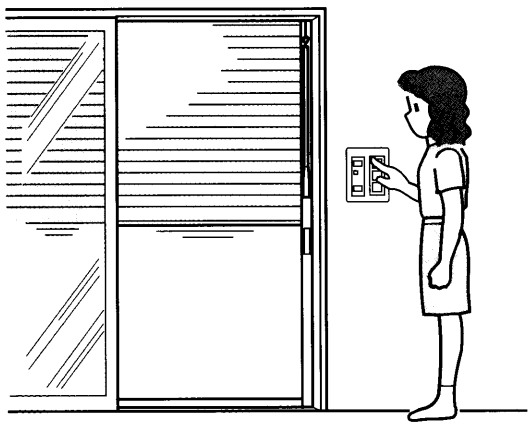


〔作動確認・避難訓練の場合〕

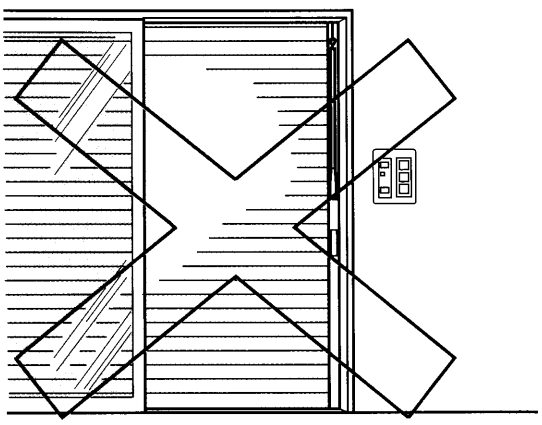
お願い

●作動確認・避難訓練の場合は、必ずシャッターを半分ほど下ろしてから、上記の手順で開放してください。全閉状態で行うと、「アリーズ」が破損することがあります。

半分閉じた状態



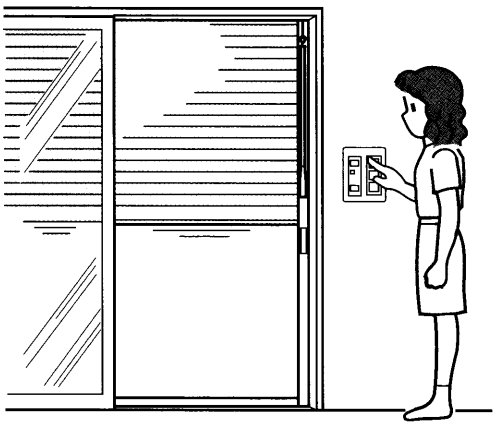
全閉状態



■復帰のしかた

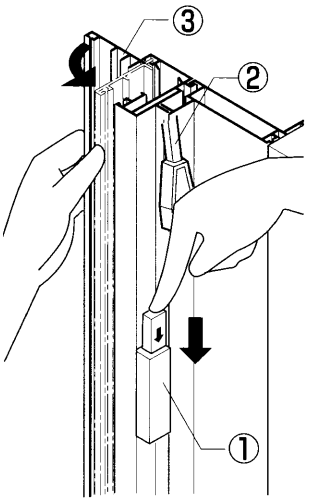
開放したシャッターを元に戻す場合は、以下に従ってください。

1)シャッターを、他の部分に引っかからないようまっすぐ上げてください。
横ずれがある場合はすぐにシャッターを停止し、シャッター面を押さえながら横に押して直してください。



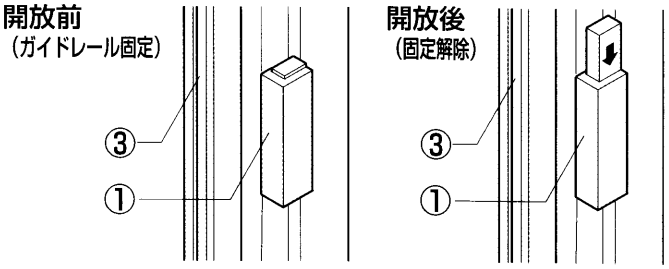
2)復帰用つまみ①がとび出していることを確認してください。
とび出していない場合は、操作ハンドル②を引いてとび出させてください。

3)ガイドレール③を閉じ、開かないよう押さえたまま復帰用つまみ①を押し込んでください。
ガイドレール③が固定されます。
ガイドレール③の固定は、左右とも行ってください。



お願い

●ガイドレール③が左右とも閉じており、復帰用つまみ①が左右とも押し込まれていることを必ず確認してください。



●復帰用つまみ①が押し込まれない場合または押し込んでもガイドレール③が固定されない場合は、上記2)からやり直してください。

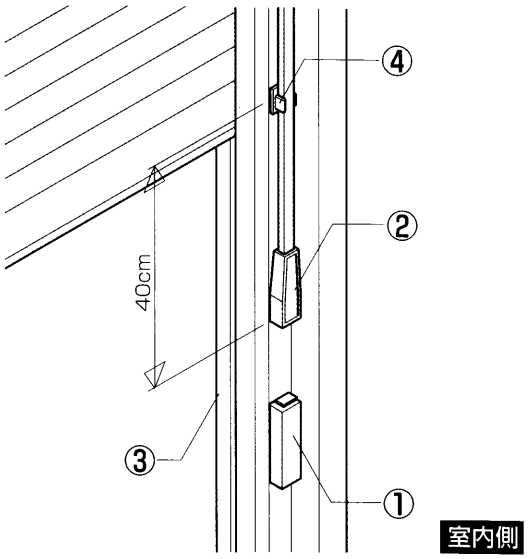
●必ずガイドレール③が固定されていることを確認してから作動させてください。

---

4)操作ハンドル②をホルダー④に固定してください。

お願い

●操作ハンドルは、必ず右図の向きでホルダーに固定しておいてください。操作ハンドルが引っ掛かり、シャッター開閉不良の原因となるおそれがあります。また、ホルダーは、操作ハンドル下端から約40cmの位置に張り付けてください。



点検・お手入れ

■点検

「アリーズ」を安全にお使いいただくため、下記の点検をしてください。
「アリーズ」に作動不良・異常がある場合は、P.1「重要なお知らせ」の窓口までご連絡ください。

⚠注 意

セーフティーリターンセンサーの点検をする場合は、必ず次ページの手順に従ってください。事故の原因となります。

お願い

●停電時開放機構の点検をする場合は、必ず手順に従ってください。
製品が損傷するおそれがあります。

点検個所	点検項目	点検頻度
タッチセンサー	タッチセンサーのゴムが傷付いていないか、切断されていないか。	日常
ガイドレール スラット	スムーズな作動を妨げるほどの傷・曲がり等の変形はないか。	日常
自動ロック機構	停止中のシャッターを持ち上げた場合、自動的にロックがかかるか。	1回/1週間
セーフティー リターンセンサー	セーフティーリターンセンサーが作動するか。 次ページに従って点検してください。	1回/1週間
停電時開放機構	手順に従った操作で開放できるか、または復帰できるか。 P.23「〔作動確認・避難訓練の場合〕」を参照してください。	1回/1年

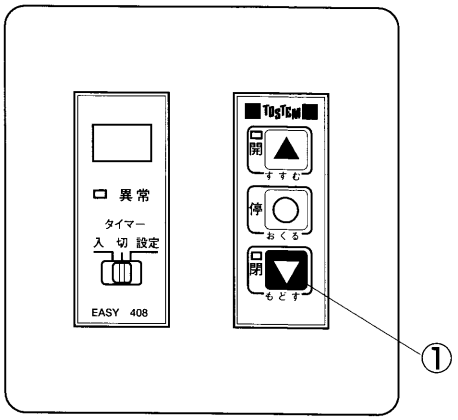
〔セーフティーリターンセンサーの作動点検〕

⚠注 意

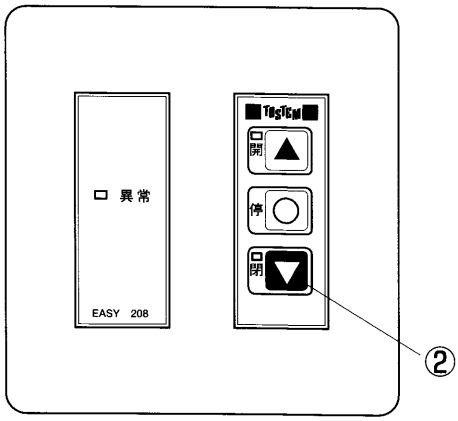
●セントラルコントローラーを操作してセーフティーリターンセンサーの作動点検をしないでください。人・物がはさまれるおそれがあります。

1)シャッターを全開にしてください。

2)壁スイッチの場合は閉/もどすスイッチ①を、アダプタの場合は閉スイッチ②を押してください。シャッターが下降してきます。

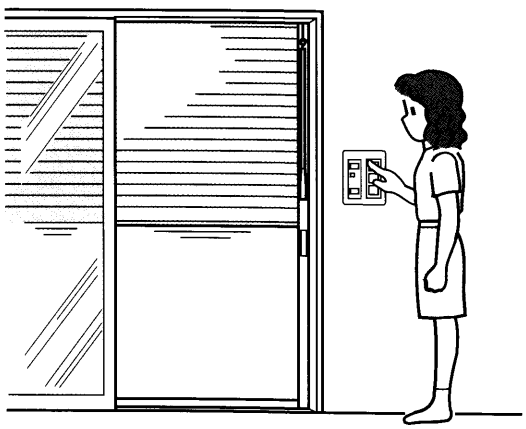


3)シャッターが半分ほど下りてきたら、手を差し出してください。シャッターが停止し、自動的に上昇します。



⚠注 意

●差し出した手がタッチセンサーに触れたらすぐに手を引いてください。
セーフティーリターンセンサーが故障している場合、シャッターと窓枠の間に手をはさまれるおそれがあります。



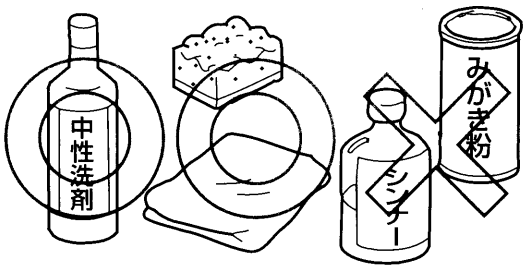
4)シャッターが停止しないまたは自動的に上昇しない場合は、次ページの「お手入れ〔セーフティーリターンセンサー送信機部分〕」に従い清掃してから再度上記を行ってください。
それでも正常に作動しない場合は、P.1「重要なお知らせ」の窓口までご連絡ください。

■お手入れ

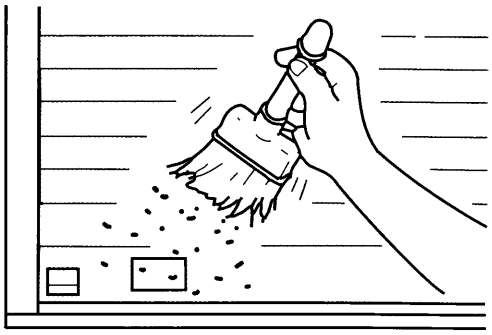
「アリーズ」は、アルミニウムで作られています。
表面に付いたゴミ・ホコリは腐食の原因になりますので定期的に掃除してください。

お願い

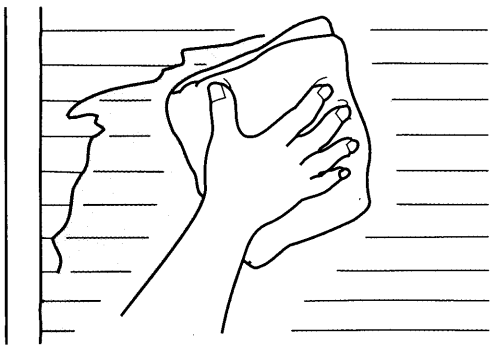
●太陽電池部分のお手入れには、水・洗剤・みがき粉・シンナーを使用しないでください。
●「アリーズ」のお手入れには柔らかい布・スポンジを使用し、金属製ブラシ・金ベラ等を使用しないでください。
●洗剤は、必ず中性のものを使用してください。



1)「アリーズ」の表面に付いたゴミ・ホコリ・砂等を取り除いてください。



2)ガイドレールに付いたゴミ・ホコリ等をふき取ってください。隅の方は、歯ブラシ・洋服ブラシ等で掃除してください。



3)以下の要領で汚れを落としてください。

〔あまり汚れがひどくない部分〕

●ぞうきんで水ぶきした後、からぶきしてください。

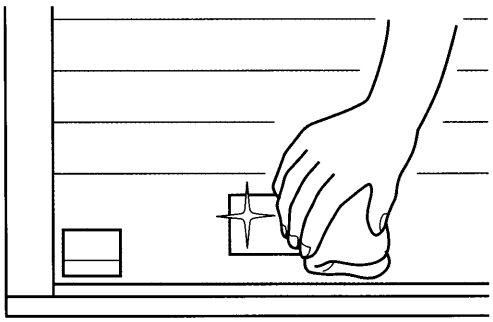
〔特に汚れがひどい部分〕

●うすめた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤が残らないようぞうきんでよく水ぶきした後、からぶきしてください。

〔太陽電池部分〕

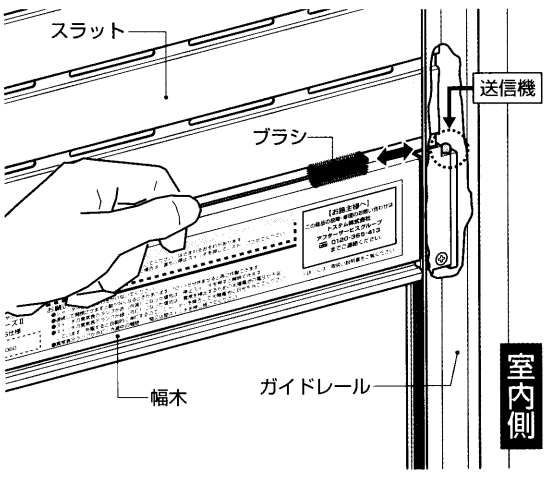
汚れのないよう、常に清掃してください。

●水にぬらしてきつくしぼったぞうきんでふいた後、からぶきしてください。洗剤・みがき粉・シンナーを使用したり、水をかけたりしないでください。



〔セーフティーリターンセンサー送信機部分〕

●シャッターを半分ほど下ろし、付属のブラシをスラットと幅木の間からガイドレールの奥まで差し込んで動かしてください。
室内側から清掃できない場合は、同じ要領で室外側から清掃してください。

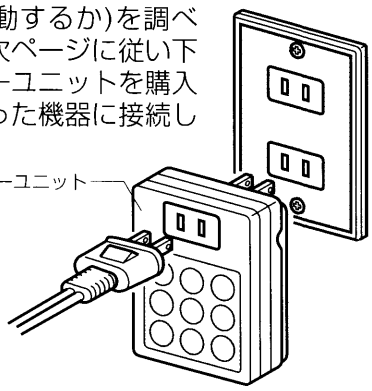


シャッターが動かない場合

シャッターが動かない場合は、必ず以下の操作を行ってから、表の指示に従ってください。

〔壁スイッチの場合〕…停止/おくるスイッチを押してください。
〔アダプタの場合〕…停止スイッチを押してください。
〔セントラルコントローラーの場合〕…停止スイッチを押してください。
●セントラルコントローラーで「アリーズ」を操作する場合は、開閉表示/異常表示ランプ(赤)の点灯で開閉状況を確認できます。

処置のしかた

ここをお調べください	処置のしかた	参照ページ
停電していませんか？	停電が終わるまでお待ちください。30分以上停電した場合は、タイマー設定・現在時刻設定が取り消されますので再度設定してください。	P.14～18
ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーをセットしてください。	—
スイッチは正しく押しましたか？	「操作のしかた」を参照してください。	P.11～13
異常表示ランプが点滅または点灯していませんか？	「異常表示」を参照してください。	P.20～22
ガイドレールに障害物がありませんか？	障害物を取り除いてください。	—
ガイドレール・スラット等が変形していませんか？	変形している場合はただちに「アリーズ」の使用を中止し、「重要なお知らせ」の窓口までご連絡ください。	P.1
5分以上連続して開閉しませんでしたか？	10～15分程度休ませてから開閉してください。	P.4
シャッターが凍結していませんか？	凍結している場合は、溶けるまで待ってから作動させてください。無理に作動させると故障の原因となります。	P.5
〔壁スイッチの場合〕 タイマー切替えスイッチが「設定」の位置になっていませんか？	「入」または「切」の位置に切り替えてください。	P.11
〔集中制御タイプ〕 アダプタ・セントラルコントローラーのまわりで大型AVテレビ・電磁調理器等が使用されていませんか？	原因と思われる電気機器の差込みプラグをひとつひとつ抜き、どの機器が原因か(どの機器の差込みプラグを抜くとシャッターが正常に作動するか)を調べてください。次ページに従い下図のフィルターユニットを購入し、原因となった機器に接続してください。  	P.29

■フィルター一覧

品　名	外形寸法(mm) 高さ×幅×奥行	摘　要	対象製品名
室外コンセントフィルター (埋込み型) AC100V50/60Hz15A	112×90.5×31	●屋外コンセントからの操作を阻止 ●壁埋込み配線用ボックスタイプ	—
フィルターユニット (コンセント用) AC100V50/60Hz15A	97×65×41	●雑音発生や低インビーダンス機器のプラグに接続して障害を防止 ●プラグインタイプ	●大型AVテレビ ●電磁調理器 ●エアコン ●洗浄便座 ●やぐらごたつ(位相制御) ●超音波加湿器 その他
フィルターユニット (直結型) AC100V50/60Hz15A	35×85×20	●低インビーダンス器具に接続して障害を防止 ●直結タイプ	●大容量照明 ●エアコン ●ビルトインエアコン ●その他

●お問合わせ先については、P.1「重要なお知らせ」を参照してください。



MAE-426D
3-990101.①.⊗

TOSTEM
トステム株式会社
本社　〒136-8535東京都江東区大島2-1-1

●この商品に関するお問い合わせ先　商品相談室　TEL03(3638)8181

ご用命は